

大学院経済学研究科入試の変更について

【1】経済学研究科博士前期課程の入学試験について、2020年度入試（2019年度実施）より以下のとおり、筆記試験に関する試験科目を変更します。（ただし、口述試験については変更ありません）

<一般選抜>

【学科（筆記） 60分】

マクロ経済学、ミクロ経済学、制度・歴史、経営学、会計学、統計学、ファイナンスから1題を選択解答する。
※ただし、次の資格等を保持し、一定以上の基準を満たす場合には、学科試験について免除することができる。
「研究科実施の筆記試験を受験する」あるいは、「資格等の証明を利用する」のいずれか一方を出願時に選択する。

経済学検定試験（ERE、ERE ミクロ・マクロ）、経営学検定、中小企業診断士、日商簿記検定、公認会計士（短答試験）、税理士試験（1科目）、ビジネス会計検定、証券アナリスト試験、ファイナンシャルプランニング技能士検定、統計学検定

【英語（筆記） 30分】

英語の筆記試験を行う。

※ただし、次の資格等を保持し、一定以上の基準を満たす場合には、英語の試験について免除することができる。
「研究科実施の筆記試験を受験する」あるいは、「資格等の証明を利用する」のいずれか一方を出願時に選択する。

TOEIC、TOEFL (iBT)、TOEFL (CBT)、TOEFL (PBT)、IELTS、実用英語技能検定

<外国人特別選抜>

【学科（筆記） 60分】

マクロ経済学、ミクロ経済学、制度・歴史、経営学、会計学、統計学、ファイナンス、小論文（日本語）から1題を選択解答する。

※ただし、次の資格等を保持し、一定以上の基準を満たす場合には、学科試験について免除することができる。
「研究科実施の筆記試験を受験する」あるいは、「資格等の証明を利用する」のいずれか一方を出願時に選択する。

経済学検定試験（ERE、ERE ミクロ・マクロ）、経営学検定、中小企業診断士、日商簿記検定、公認会計士（短答試験）、税理士試験（1科目）、ビジネス会計検定、証券アナリスト試験、ファイナンシャルプランニング技能士検定、統計学検定、日本語能力試験

◎試験の免除に関する詳細は、2020年度入試（2019年度実施）の募集要項で確認してください。

【2】経済学研究科博士後期課程の入学試験について、2020年度入試（2019年度実施）より以下のとおり、変更します。（ただし、口述試験については変更ありません）

英語の試験については「本研究科実施の筆記試験を受験する」か「TOEFL、TOEIC または IELTSのスコアを用いる」のいずれか一方を出願時に選択する。

◎スコアに関する詳細は、2020年度入試（2019年度実施）の募集要項で確認してください。